



バナナ園
グループ

2020年1月号

Monthly

January

BANANANEWS

WEST

ホームページにも情報満載！

バナナ園



賀正 2020

長富範子さん<㈱ファークス 事業推進部エキスパート/薬剤師>、前田玲子さん<㈱ファークス 事業推進部地域連携推進室課長>

「服薬支援」を理解する

保険薬局の㈱ファークス 事業推進部のお二人に伺いました



㈱ファークス事業推進部エキスパート/薬剤師の長富さん、長年現場で薬剤師として活躍後、現在は社内薬局の在宅介護医療推進業務を担当している。

11月29日当グループと川崎市宮前区の「かわさき記念病院」「鷲ヶ峯地域包括支援センター」の共催で「お薬」に関するセミナーを開催しました。平日にもかかわらず60人以上の一般の皆さま、医療・介護従業者が集結、「お薬」に関する関心の高さを窺い知ることが出来ました。今回はこのセミナーでもテーマになった「服薬支援」について分かりやすく、保険薬局を全国展開する株式会社ファークス事業推進部のエキスパート/薬剤師の長富さん、地域連携推進課の前田課長にお話を伺いました。

Q：ここ数年、「服薬支援」という言葉が医療・介護従業者の周りでしきりに話題になるようになりました。先日のセミナーでも「服薬支援グッズ」に注目が集まりました。

前田：どんなに劇的な新薬が開発されてもちゃんと服用されなければ何の効果もありません。患者様の規則正しい服薬をサポートすることが重要、ということです。昨今「服薬支援ロボット」の登場やAIの活用等、テクノロジーの分野が注目を集めていますが、「タブレット」や「薬の一包化」、「配合剤<複数の薬効成分を一つの薬の中に配合した医薬品>」の開発等も全て「服薬支援」に通じます。

Q：ここまで「服薬支援」が声高に叫ばれ、注目されるのは？

長富：いくつかの要因があります、特に「残薬」の問題がメディアによってクローズアップされてきたことも大きな要因です。具体的には「薬の飲み忘れ」や「飲み残し」という事です。何らかの理由で自宅にためこむ、いわゆる「残薬」の量は、年間500億円とも言われています。保険財政上の問題以外に、正しく服用されていないことで、薬効や健康に影響が出ることが懸念されているのです。

Q：グループホームに入居される前、ご家族が高齢者のお宅を掃除すると、大量の「残薬」が出てきた、というのはよくある話です。やはり在宅での特有な課題ということになりますね？

前田：ある統計によると高齢者の服薬不遵守は25%、それが認知症患者（軽度から中等度の障害）ではその2倍以上の55%になることが報告されています。周りに介護者がいる場合はまだしも「独居」や「老老介護」の場合いかに服薬アドヒアランスを高めるかが課題です。

Q：施設に入居し規則正しい服薬により、しばらくすると元気になれる方もいらっしゃる。しかし多種の薬を日に何度も規則正しく飲んでいただくのは、施設職員でも工夫が必要な業務です。

長富：調査によると「認知症」「高血圧」「糖尿病」などの慢性疾患で長期処方される場合に残薬が多い一方、薬の種類が多いほど、残薬が発生する割合は増加するとも言われています。そして「残薬」が出る理由も実は様々です。まずは服薬が困難になること「運動機能障害」<筋力の低下や指先の器用さ>「摂食・嚥下障害」<咀嚼力・飲み込み>、そして「管理能力の低下」<物忘れや認知症>。他には「自己判断による服薬中止や減量」などで、理由は患者様によりまちまちです。しかし医師の「お薬はちゃんと飲んでますね？」という問いに「いいえ」と答える方は少ないのも現実です。

Q：なるほど～「服薬支援グッズ」だけの問題ではありませんね。

前田：そうなのです。「残薬」が出る原因を特定するには、やはり専門家<医師・薬剤師・ケアマネジャー等>がその方の生活環境までに入り込まないとなかなか解決の糸口を見つけられません。特に「管理能力」の低下に起因する場合は非常にデリケートです。薬の置き場所を変えるだけで解決する場合もあれば、促しの電話を入れても解決しない場合もある。

Q：さて、何か解決方法や改善に向けての方法はあるのでしょうか？

長富：まずホームドクターと同じ位置づけで「かかりつけ薬局や薬剤師」を活用することです。これによりかかりつけ薬剤師がひとりの患者様の服薬状況をまとめて管理することやポリファーマシー<多剤服用で害をなすもの>を防げます。更に踏み込んで薬剤の飲み忘れを防ぎ、患者様に確実に薬を飲んでもらうためには、薬剤師の「居宅療養管理指導」が重要になると考えられます。それは、医師の指示を受け、薬剤師が患者様宅に訪問し処方されている薬の管理方法や服薬指導・アドヴァイス等をするもので、併せて服用状況や「残薬」が出る原因を特定することに繋がります。しかし、確実なのは家人や介護者、薬剤師が毎回、薬を飲むところを確認することですが、これは不可能です、それこそ「ロボット」やAI技術の応用が期待されることです。



㈱ファークス事業推進部地域連携推進室課長の前田さん、現場でケアマネジャーとして活躍後、薬局(居宅介護支援事業所)の運営管理を担当している。



終演語の服薬支援グッズコーナーには沢山の方が



11月29日の「お薬」のセミナーには多くの人が集まりました。



(上)今では当たり前の「薬の一包化」、これも医師の指示が必要。自分の飲む薬を数えられないような高齢の人などは一包化してもらって安心。
(右上)手の届かないところに軟膏を塗ったり膏薬を貼る便利グッズ。(右)古典的なタブレットも服薬支援グッズ。ピルボックスやカプセル式のお薬ケースもある。



(上)カイエ学が開発したコミュニケーションロボット「BOCCO」、セコムがインターネット経由で定期的な挨拶や服薬の促し等の声かけを行なう。(左上)エーザイが開発した服薬支援ロボット「お薬さん」は離れた場所からも患者の服薬状況を確認できる。

川崎市宮前区のグループホーム「バナナ園生田の泉」より
毎日午後 2 時はレクの時間!

全国に存在する高齢者の福祉施設ではそれぞれの事業所やアゴごとに独自のスケジュールが存在しているかと思えます。「朝のお茶」「体操」「お風呂」「散歩」などなど……。入居者の年齢層や身体能力によって流れは様々でしょうが、そこには必ず規則正しいリズムと、アゴの目的が存在しています。川崎市宮前区のグループホーム『バナナ園生田の泉』で特に皆様が楽しみにしているのが、午後 2 時から行われるレクレーションです。当施設ではこの時間を重視して、エッセイター、アゴマネージャーを含むスタッフそれぞれで意見を出し合い、工夫を凝らしています。そもそもレクレーションという概念は、『自発的、創造的な人間活動』であると定義されています。さて、それは具体的にどういうことでしょうか? と疑問を持ち、頭をひねるスタッフ一同。もう少し簡単に解釈し、『手作り』という発想に至ります。たとえば、新たに玉入れのレクレーションを導入することになりましたが、この際、折角ですから玉も、それを投げ込むカゴも、入居者様に作って頂こうというのです。紙を丸めてコロンテープで止めれば、簡単に片手サイズの玉の出来上がり。また、むき出しの段ボール箱に紙を糊付けして包装するだけで、玉入れのカゴとしてそれなりの見栄えです。合唱レクレーションで使用する歌集も、入居者様に歌詞用紙をページ順に揃えて綴じて頂き、見事に人数分が完成しました。そして室内で身体を動かす風船バレー! 風船を突き上げる際に使用するのは、一人ひとり好きな絵を描いて頂いた折り紙団扇です。このように、レクの道具と環境を用意するのも入居者様自身にお願いして、そこに『自発的』『創造的』の意義を見出して頂こうというねらいがあります。実際に、入居者様の笑顔からはやりがいと手応えが感じられます。そして、それ以外にも好評なのが大勢で参加できるトランプ。細かいルールの認識や、先を読む方策性によって脳が刺激されるため、楽しみながらも認知症のケアに適しているといえるでしょう。時には、まったりと映画鑑賞をすることもあります。邦画シリーズ『男はつらいよ』は特に人気が高く、名優たちの演技にほっこり笑ってほろりと涙。最近では海外の自然ドキュメンタリー『アース』の上映会を行い、入居者様は壮大な映像の数々に魅了されていました。現在(12月中旬)、夕方にはすっかり外は暗く、肌寒く、一年の早さを感じる時季になってきました。寒さに負けないようなレクレーションを、これからも提供していきたいと思う日々です。



レクレーションはリハビリテーションの観点からも重要。特に準備作業は作業療法の領域に含まれます。



バナナ園グループで働きステップ・アップをしませんか?
介護スタッフ募集中

★介護はアゲアゲ～未経験だからこそそのアゲアゲが必要です!

■募集要項

★職種: ケア・スタッフ<①正社員/②非常勤職員>★無資格・未経験からスタート/年齢不問

★給与: ① 月給: 213,000 円～<18 歳資格なし夜勤 5 日含む>

② 時給 1020<無資格>～1170 円<介護福祉士>

※夜勤 1 回 18,000～20,000 円<介護福祉士>①②処遇改善加算交付金含

★時間: 9:00～17:00 17:00～翌 9:00

★待遇: 社保・有休・交通費規定内支給: 月額 50,000 円迄

★勤務場所: 当社各施設 10 箇所の中から通勤し易い場所を選べます。

●問合せ: (株)アイ・ディ・エス 採用担当まで

044-455-6117

2020 年 3 月新卒社員募集中

会社説明会随時開催中

エントリーはこちらから→



川崎市多摩区のグループホーム「バナナ園生田ヒルズ」より
医療連携で安心介護

「小さな老人ホーム～グループホーム」は病院ではありませんのでスタッフとして医療従事者は配置されていません。多摩区のグループホーム「バナナ園生田ヒルズ」では入居者様の健康管理と定期的な診療のために、看護師の定期訪問<週 1 回>そして訪問診療で医師<原則月に 2 回の訪問>を実施、365 日 24 時間体制で医療機関との連携をしています。「バナナ園生田ヒルズ」では毎週木曜日に、同じ多摩区内くしかも歩いて 5 分!>の「訪問看護ステーション長沢ひまわり<医療法人社団 三医会>」の事務所から看護師さんが来てくださいます。介護士は勿論、介護を専門に勉強をした介護福祉士にも許されていない「医療行為」の範囲は意外に広く、「摘便」「床ずれの処置」「インスリン注射」「血糖測定」「点滴の管理」は勿論、例えば「巻き爪」や「白癬などの爪切り」そして専門の機器<水銀血圧計>を使う細かな体調チェック等も看護師さんにお任せしなければなりません。毎週来て気さくに声をかけてくれる看護師さんは人見知りの多い「バナナ園生田ヒルズ」の入居者様の心も驚かすほど、たとえ少しご機嫌斜めな時でも、看護師さんの訪問の時はニコとした笑顔で対応をさせていただきます。しかし高齢者の多い施設では穏やかな毎日だけではありません。寒くなり体調のすぐれない方に、医師の指示で点滴を行うことも出てくるでしょう。注射針の抜き差しなどの医療行為は、当然、免許のある医師や看護師しか行うことが出来ません。数時間かかる点滴の為に、雨の日でも雪の日でも駆けつけてくれる看護師の皆さんに、スタッフ一同頭が下がります。訪問診療は隔週で、高津区からお医者様そして看護師さん、提携薬局の薬剤師さんが同時に訪問、体調の変化から認知症の進行状況までも診てくださいます。医師の処方箋によって薬が増えたり減ったりします。その薬を決められた時間に間違いなく飲んでいただくのは介護士の役目ですが、小さな薬一錠で全身の状況が変わり得るので、慎重で責任を要する大切な仕事になります。また、必要で希望される方には訪問歯科医のサービスも対応しています。これらの医師、薬剤師、看護師、歯科医など、様々な医療連携に支えられて、ご入居者様はもちろん、スタッフも安心して介護をすることが出来るのです。



爪切りでも巻き爪や基礎疾患に糖尿病等がある方などは医療行為となるので看護師さんにまかせることになる。

バナナ園グループ

【グループホーム】

- 川崎大師バナナ園 ☎ 044-280-2386
- 第 2 バナナ園 ☎044-587-1773
- バナナ園武蔵小杉 ☎044-863-7101
- バナナ園ほりうち家 ☎044-722-5361
- のんびりーす等々力 ☎044-750-9203
- のんびりーす ☎044-422-2295
- バナナ園生田ヒルズ ☎044-911-1599
- バナナ園生田の社 ☎044-789-5691/5692
- バナナ園生田の泉 ☎044-789-5693
- バナナ園横浜山手 ☎ 045-264-9634



グループホーム空室情報

空室情報、入居に関するお問い合わせは右記の各施設もしくは総合案内

044-455-6119



月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月 1 日発行)
 通算第 181 号 編集: 株式会社アイ・ディ・エス
 川崎市中原区新丸子町 734-2 ☎044-455-6119
 <HP> <http://www.bananaen.com/>